

学校だより

明るく 元気に たくましく

令和2年9月8日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



小学部第6学年教室前の展示 表現豊かな作品ばかりです

新型コロナウイルス感染症対策により、これまでにない様々な制約のある1学期を過ごしましたが、8月7日（金）無事1学期が終了しました。この間、保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。僅かな夏休みを挟んで、8月24日（月）からは2学期が始まり、静かな校舎に賑やかな日々が戻ってきました。今後も、三密を避け、児童生徒の安心、安全を第一に考えて学習活動を行ってまいります。

□ 平和学習

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、例年8月6日に高等部職業コース生徒が参加していた「ひろしま子ども平和の集い」は中止となりましたが、全国22市町と海外2か国、計60団体から寄せられた「平和のメッセージ展」が開催され、高等部普通科職業コース生徒が作成したメッセージパネルが展示されました。「戦争なく人々が平和に暮らせますように」「言葉のぼうりょくがなくなりますように」など、生徒それぞれが考える平和への思いを多くの方々に見ていただくよい機会となりました。

高等部第1学年職業コースでは、平和記念資料館 啓発課より 宇佐川 弘子様をお招きし、原爆の恐ろしさや平和の大切さを、お話と絵や図などで分かりやすく伝えていただきました。話を聞きながらメモをとった生徒は、自分たちが調べた平和学習のまとめに加えていました。一人一人が平和を願うことが皆の平和につながることも実感しました。中学部第3学年は、様々な人にとっての平和が絵で紹介されている絵本「ピースブック」をもとに、自分にとっての平和について考えました。「かーぶをおうえんする」「ダンスをする」など、文字やイラスト等でそれぞれの思いを表現し、「せかいのわ」にまとめました。中学部第2学年は、広島が世界で初めて被爆した都市であることを学び、復興の様子や原子爆弾の後遺症で亡くなった佐々木禎子さんについても学習しました。そして、自分達ができる平和について考え、平和のシンボルである鶴を折ったり鶴の絵に色塗りをしたりシールを貼ったりしました。各学級の作品は、原爆の子の像の写真が貼ってある台紙に貼り、平和の気持ちを表現しました。中学部第1学年は、友達と仲良くすることやルールを守って学校生活を送ることが大切であることを学び、皆が幸せになることを願ってそれぞれの思いを鳩に乗せ、大空へ飛ばたかせました。

高等部職業コース「平和のメッセージ」

中学部第3学年 みんながへいわでへいわ
「せかいのわ」



中学部第2学年 折り鶴で平和を願いました



高等部第1学年職業コース
原爆について学びました

中学部第1学年 平和へのメッセージ



□ 小学部第6学年 生活単元学習「野菜を育てよう」



野菜を使った料理の写真も添えて手渡しました！！

8月3日(月)に、管理職や養護教諭に、自分たちで育てた野菜を使った販売体験をしました。販売に協力していただき、実際のお金を使っでの学習です。休業が続いたため、野菜の栽培も思うようにいきませんでした。一人一人目標を決め、毎日水やりを頑張りました。収穫した野菜は丁寧に袋詰めし、「おいしい野菜いかがですか!」と売り子の役もばっちりこなしました。自分の役割に責任をもつこと、見通しをもって作業を進めることなど多くの経験を積んだ子どもたちは達成感いっぱいです。最後は、楽しみにしていたジュースを校内の自動販売機で購入し、みんなで乾杯しました!

□ 高等部第1学年Ⅱ類 「みつめてみよう 未来のこと 自分のこと」

みんな食い入るように、じっと見ていました。

8月4日(火)に「みつめてみよう 未来のこと 自分のこと」と題し、市立中央図書館の方にブックトークをしていただきました。「ルミナスさん」「自分らしさってなんだろう」などの素敵な本を紹介していただき、生徒たちは興味を持って聞いていました。これからも様々な本と触れ合う中で、物語に浸ったり、自分を見つめたりする時間を持っていきたいと思えます。



□ 学校協力者会議を開催しました!

8月27日(木)に、学校協力者会議を開催しました。例年であればもっと早い時期に開催しておりましたが、今年度は臨時休業の時期と重なるため、この時期での開催となりました。今年度の学校協力者の皆様は、下の表のとおりです。1年間どうかよろしくお願ひいたします。第1回目の今回の協議では、学校から学校経営計画、コロナウイルス感染症対策や障害がある子どもへの接し方について話題に上がりました。福祉サービスや学校においても、子どもが前向きに動きたくなるような言葉掛けや働き掛けを周囲の者が十分に理解することの大切さが多くの出席者から語られました。「折り合う力」「認め合う力」を大切にしていこう姿勢を学校としても示していきたいと思えます。また、今年はやはりコロナウイルス感染症対策についても話が及びました。本校としては、濃厚接触者や感染者が出た場合の対応について、広島市教育委員会と協議した上で対応方法を策定しています。教職員が共通理解し、適切な対応をすることで、微力でも保護者の皆様の御不安を取り除くべく努力をしてみたいと思えます。どうか今後とも御協力をお願いいたします。



令和2年度学校協力者(敬称略)			
江上 正明	元山田小学校 校長	中村 毅	瀬野川学園 施設長
林 武広	比治山大学 副学長	丸本 睦弘	出島町内会 会長
若松 昭彦	広島大学 教授	大野 清治	出島町内会 副会長
坪倉 ひふみ	西部こども療育センター 所長	鈴川 隆幸	宇品公民館 館長
山根 希代子	こども療育センター 小児科医師	岡峰 真帆	本校 前PTA会長
佐々木 邦洋	育成園 園長	久保 清美	本校 PTA会長
井上 一成	もみじ福祉会 理事長		

□ 学校保健委員会を開催しました!

8月27日(木)午後、令和2年度第1回学校保健委員会を開催しました。例年は夏休み中に開催しておりますが、本年度はコロナウイルス感染症の影響による夏休みの短縮により、この時期での開催となりました。学校医の森 美喜夫 先生(内科)、上田 裕次 先生(歯科)、佐久間 修 先生(眼科)、福原宏平 先生(整形外科)、学校薬剤師の永野孝夫 先生に御出席いただきました。また本校PTA会長 久保清美 様には密を避けるため、PTAを代表して御出席をいただきました。本委員会では、学校からの様々な報告とともに医学的な見地からの御意見を基に協議をさせていただきました。議題の中でも、やはり関心の的はコロナウイルス感染症対策であり、感染した場合に重篤化する可能性が高い本校での取組について、学校医、学校薬剤師の先生方へ確認させていただきました。その中でも、気温が高い夏場の換気については、自然換気が最もウイルスの除去に関しては効果が高く、エアコンの効いた部屋では常時窓を開けて換気するのではなく、時間をおいて定期的に換気をする方が、内気と外気の温度差の関係で換気がスムーズになるとの御意見をいただきました。また、感染は飛沫感染が主であることはもちろんだが、その対策としての手洗いが特に重要であるとのこと。理由としては、手でまぶたを触ったり、口や鼻に触れたりすることが多いことがあげられるそうです。今後、コロナウイルス感染症への対応は5~6年かかるだろうとの意見をいただきました。本当に貴重な御意見・御示唆をありがとうございました。



本当に貴重な御意見・御示唆をありがとうございました。